

酒類・食品 & News 解説

週刊

令和7年1月24日(金曜日) 第3430号
 (昭和42年7月10日第3種郵便物認可)
 毎週金曜日 発行 編集発行人 石母田 健
 購読料 6ヵ月 15,730円(税込み)
 振替番号 東京4-71739
 発行所 株式会社日刊経済通信社
 本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル9階
 ☎03(5847)6611(代) FAX 03(5847)6600
 名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791
<http://www.nikkankeizai.co.jp/>

'25年新春の市場見通し

京阪神 酒類食品流通市場

【大阪】今年の京阪神市場は、いよいよ万博イヤーを迎える。

当社は日本古来の伝統文化に触れられる京都・奈良、食を指して大阪へと、多くの観光客が訪れる。人流が本格的に回復した23年はコロナ禍前に増してインバウンドに溢れ、大阪・関西万博の来場者数約2820万人が想定されることから、国内外への食の発信機会として期待が持たれているところだ。

なかでも、会場でパビリオン出展する大阪外食産業協会(ORA)においては、



提供：2025年日本国際博覧会協会

迎え撃つ当地の企業では、地域のコミュニティスペースとなり、来店動機につなげていくことや、エリア特性に合わせ

パビリオンでの食と食を通じて体験を提供するのみならず、街中に店舗を構える会員企業が会場の外からも来場客を迎える準備を進めている。単に食の提供というだけではなく、おもてなしやコミュニケーションといった、食を通して生まれる食文化をひたひたに「大阪の食」「関西の食」を提供していくこと、万博の開催を待ち構えている。

万博イヤーを躍進の契機に

一方、日常の食を支える小売流通は、進出以前から戦々恐々としていたオーケーが11月に関西初出店を果たしたところだ。それぞれのチェーンのカラーを出しながらSMが競い合ってきた当地域において、消費者にとっては新たな選択肢が一つ加わったことになる。

価格も価値である一方、コストアップと値上げの環境下では、安価であればそれが可能となる仕組みづくり、高価であればそれに見合った価値の提案といった、価格に応じた価値を提示できるかが必要だという認識が浸透してきた。それ

た店舗モデルを確立するなど、より地域に密着した店舗展開が図られている。合従連衡でスケールメリットを追いついても、個々のカラーを出しながらより消費者に寄り添っていく。当面は模索されていく。やや落ち着いたかに見える値上げの動きは、まだしばらくは続きそうだ。どの

カテゴリーにおいても、値上げは一向呵成に進むものではなく、再度再々度に渡る値上げを繰り返しながら、時間をかけて全体の底上げが図られているところだ。

地域の食を支えるものづくりでは、伝統食の市場の縮小が、技の継承や関連する産業の存続の危機にもつながっている。食を持続可能なものにしていくために、価値を提供していくた

め、価格改定のみならず、携わる当事者がその価値を改めて認識することも大事だろう。

日本の「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産登録されたが、世界で認められたことで、当たり前に身近にあるものの価値を再認識することができた。日本酒や焼酎に限らず、担い手が高齢化する食カテゴリーや、慢性的な製造現場の人手不足があるなか、改めて食と食を担うことの価値を当事者が認識し、外からの

関心を高めることで次世代に続く産業にしていきたいところだ。

年初にあたり、阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えるということも記憶にとどめておきたい。近年に経験したことのないような大災害と災害からの復興は、東日本大震災や直近の能登半島地震など、その後続いた大規模災害において、支援と復興の道しるべともなってきた。災害への備えや被災時の食事など、食の面からも災害に対する考え方や商品展開を大きく進化させている。

30年の歳月を経て、当エリアでは阪神・淡路大震災の経験を礎としつつ、前に進んで行く気持ちを新たにしている。気候変動をはじめ、様々な面からの食を取り巻く環境の変化があるなか、改めて食の在り方を考えるひとつの節目となる。

(赤松裕海)

主な内容

京阪神の市場見通し 1〜3面
 (清酒、食肉、凍り、大阪・博) 2面
 フェリス春夏新商品 10 11面
 加藤産業春夏新製品 5面

梶屋三左衛門(当主) 4面
 トップ・カン 永津社長 7面
 卸売業 加藤 加藤社長 13面
 新春 大阪外食産業 中井社長 14面
 直撃 協会(ORA) 中井社長 15面
 新春 オグールイブリ 久野社長 15面
 ◎原料商品情報 89面

KIRIN'S PRIME BEER
 おいしいとこだけ 搾ってます。
 一番搾り

よろこびがつなく世界へ
KIRIN

ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。のんだあとはリサイクル。

キリンビール株式会社